

碁老連 ニュース

第44号

碁老連の目的

ボケ防止のために、老人囲碁愛好者の誰もが
 「碁を楽しむ」ことが出来るよう、協会と場所を
 確保するために相模カン、囲碁を通じて親睦
 を図り、更には、より良い福祉社会の建設に貢献
 することを総務とする。

発行日	平成5年9月8日
発行所	入生の碁老連 碁老連会
〒193	入生市平部沢町1434-46
TEL	(0426) 66-3754
発行人	熊崎正一

ボケ防止に関する講演会(テスト実施)について

日時 平成5年9月4日午前9時30分
 場所 総合福祉センター(東浅川町551-1、電67-1331)
 施設 碁老連研修会囲碁大会会場々場を利用
 講師 茨城医療センター 副院長 金子満雄先生
 テスト指導員 高槻指導員外5名

御講演は、スライド43枚を利用して、ボケ問題に関する囲碁の優れた初用性と「碁打ちにボケはいない」などの先生の持論が展開され、参加者一同を魅了し、深い感動と安堵感を齎らし、私語もなく熱心に拝聴されていた。
 テストには、予想外の74名全員が参加し、下記のような好成績を収めました。
 これも偏へに、先生の説得力の賜と深く感じ入りました。
 御講演内容に関しては、御説明より、別紙添付の「囲碁は痴呆を除く」と「ボケ(老人性痴呆)は早く見付けて、手を打とう」の2件を要約したものであるので、御参照下さい。
 尚、講演時間に関して、当方の不手際により御約束の午前9時30分開始が午前9時50分となり、1時間20分の予定時間を短縮の厄いなきに至り、誠に申し訳ない次第にて、先生には大変御迷惑をお掛けしたことを心からお詫言申し上げます。又、本講演会には、金子先生を始め、テスト指導員6名 計7名の方々が出演されましたが、先生の御好意により、講演料や茨城からの往復旅費等一切無料の御奉仕となっておりますので、この際、会員各位に御報告させて頂き、参加者一同を代表して、心からお詫言を申し上げます。
 碁老連としては、講演会開催は初めての試みであり、先生にも参加者の方々にも御不満を莫く致しました事と存じておりますが、次回からはこのような不手際は起こらないように万善を期す所存でありまうから、悪しからず御了承下さい。

記

碁老連研修会囲碁大会参加者「かなひろいテスト」成績

年代	人数	平均
50代	3人	34点
60代	41人	26.3点
70代	24人	24.7点
80代	6人	17.0点

一般住民における平均値

33.1

24.0

17.3

10.7

(1)

(別紙添付)

囲碁は痴呆を防ぐ

浜松医療センター・副院長、脳神経外科

金子満雄

脳卒中や頭部外傷などで脳の色々な部位が障害を受けることがあります。その壊された部位によってそれぞれ異なる症状を引き起こすことはよく知られています。左半球が壊されると色々なタイプの失語症(言葉を聞き取ったり、話したりが出来なくなる)を来すことは有名ですが、右半球の障害の場合は同様に失音症(音楽を聴いたり、歌ったりが出来なくなる)を起こすことは案外、知られていないかもしれません。

実は右半球の後半部が損傷を受けた場合、そのような音楽の障害の外にも同様に碁、将棋、麻雀などが打てなくなったり、スポーツでの方向感覚、距離感覚、直感が障害されていたりするので、そのように脳が何かで障害を受けた時、初めてそこが色々な重要な働きをしていたことに気がきます。

そこで、これまでよく知られていなかった右脳の諸々の働きを、もう一度、整理してみましよう。

ここは基本的には感覚、知覚を介した情報を処理する場所ですから、左脳の言葉、計算、理論などは相対する作業内容になります。

(1)音楽 音程の識別、メロディーの把握、

曲想の認識、楽器の演奏、作曲、歌唱などでも右脳が殆ど主役を演じます。

(2)ゲーム類 囲碁、将棋、チェス、麻雀、花札、トランプなど。

(3)絵画 図形、色彩感覚、立体感覚などに基づき、描く、眺める、鑑賞する。

(4)スポーツ 野球、テニス、ゴルフ、ゲートボールなど。

(5)短歌、俳句、詩など。

(6)感情的意思疎通 表情、身振りでの感情の交流など。

を挙げることが出来るでしょう。

その際、表面的には右に挙げたように碁が打てたり、テニスが出来たりということですが、その中で育てられる能力が実は重要なのです。相手の気持ちがよく読めることから、親友を作れることにながり、また、直感を養うことによつて発明、発見につながります。また、人を愛すること、犬、猫、小鳥などを愛すること、自然を愛することにも必須の才能を培うことが出来るのです。その外、

右脳が十分に開発された人は、感性が豊かで意欲があり、人との協調性があり、機転がきき、頭張りがきく、と良いことづくめです。これこそ、人生を心豊かに生きるための才能といえるでしょう。そ

こで、いま、大学でも大企業でも右脳の才能の豊かな人を採用しようという動きが出て来ていますが、当然のことです。右脳はあまり使わなくても人生を生き抜いていくことは出来ますが、その結果は仕事、地位、お金儲けが主眼の人生となりがちで、心貧しく生きることになるでしょう。その結果が、退職後に早々とボケていくインテリも少なくない現象を引き起こしているようです。

も一つ重要なことは右脳の後半部に人の意欲の一次中枢があることです。右脳を高齢になるまで有効に使っている人がいつまでも意欲が衰えない原因はここにあるようです。

また、逆に私達が右脳に脳出血の起こった患者さんを見ていて気付くことは、その発作後、急激に意欲を無くし、リハビリなど、やろうとしないようになることです。これは老人性痴呆の患者さんで、人生のある時点で生きる意欲を無くした時に痴呆が始まることと軌を一にしているようです。

さて、このように重要な役割をしている右脳の開発に幼児期から継続的に役立てられるのは、音楽、絵画、囲碁、詩、スポーツなどが代表的なものでしょう。

(次頁へ続く)



金子満雄先生著

老人性痴呆の正しい知識 (¥820)

発行所(株)南江堂 電(03)3811-7239

〒113 東京都文京区本郷3-42-6

ところがこれらの能力の開発には、一般に、それぞれ習得するためのタイムリミット（年齢制限）があります。音楽での研究は、より進んでいます。絶対音感を習得するためには満六歳まで、相対音感のためには十四歳が限度だとされています。つまり、中学生の十四歳まで、ここまで音楽に親しむ機会が無かった人たちは正しい音感を身につけることが出来ず、その後、一生、人生の中で音楽を楽しむ可能性を無くしてしまうだろうという事です。そして、このことは甚にしても、絵画にしても、基本的には同様に考えると考えられるのです。

もうお分かりでしょう。痴呆は高齢になつてから起こりますが、その原因は殆ど幼児期にまでさかのぼる、その人のそれまでの全人生の総決算によつて決まると私達は考えているのです。

それでは実際の現場で痴呆と痴呆との関わりを見てみましょう。

私達はまず、老人クラブに出席した六十五歳以上の約千二百人の人々について調べてみました。その中の約十三%の人に痴呆の傾向（私達の提唱している軽い痴呆も含めて）が見られました。軽大学約四百人では約五%しか見つかりませんでした。ところが、驚いたことには囲碁クラブで碁を打っていた約六十人の人の中には一人も痴呆の傾向の人は見られませんでした。

そこで、もう少し細かな分析をしてみました。前記の老人クラブの千二百人の前頭葉機能を含めた知能テストの結果、早期痴呆群と普通以上の優秀な成績をとった百二十四人（優秀老人群）とを対象に検討してみました。この際にはたくさん生活要因につき同時に分析しましたが、趣味の有無については優秀群では楽しんでいつもしている」が七十九・九%で、「趣味がない」は四・二%でした。それに比べ、早期痴呆群では「楽しんでいつもしている」は四〇・九%と半減し、その内容も受け身、消極的なものが目立ちました。また、「趣味がない」は三十一・八%に上がりました。また、囲碁をいつも楽しんでる人のうち、二十三人は優秀群でしたが、二人だけが早期痴呆群に入っていました。

なお、両群の間で統計的に有意差のあった趣味としては囲碁、将棋、麻雀、生け花、楽器演奏、音楽鑑賞、俳句、短歌、読書、園芸、ゲームボール、スポーツ観戦などでした。

ここでその調査に際して、私達が開発した新しいテスト法について一寸触れておく必要があるでしょう。

人の大脳後半部の左右の機能分化については初めに述べた通りですが、そこにいった情報はすべて大脳の前端にある前頭前野に送り（よ）れ、ここで、その時点

における外界の状況分析、判断次いで推理、発想、決断などがなされ、最終的に運動領域へ司令を出します。つまり、この前頭前野こそが脳の中の最高司令部なのです。

碁の対局で相手の意図を先に看破り、相互の形勢を判断し、適切な対応を機敏に選択することなどもすべてこの前頭前野のなせるわざです。この最高司令部の働き具合を測ることが出来れば、脳全体の総合評価も容易にできます。しかし、脳後半部の能力を測る知能テストと違って、これは非常に難しい問題で、その検査法が改良でもお困りでも、まだ開発されていなかったのはそのためなのです。

この二十二年間、私達はいくつもの前頭葉機能テストを試作してきました。ボケの初めにはこの前頭前野の機能低下が常に起こっている」ことをわれわれがつきとめ、証明出来たのも実にこのテスト・バッテリーのお陰でした。

そして、従来の方法では診断出来なかつた軽い痴呆でも、簡単に診断が出来るようになったのです。

最後に、この話をしめくくるエピソード。昨年、私達は、超百歳高齢者八百九十人の脳機能テストをさせて頂き、約五十人のカクシャク老人を確認出来ました。その中に私の家庭訪問を首を長くして、碁盤を出して待っていてくれた二人のおじいちゃんがあった、とです。

〳〵

天竺義照先生著

囲碁のむくむく人生 (¥1,500)

発行所 (株) 碁書房 電 (03) 3366-4451
〒160 東京都新宿区西新宿7-18-9 神成ビル

(3)

(別紙添付)

ボケ(老人性痴呆)は早く見つけて、 手を打とう

——一般人のための予防と治療の手引——

浜松医療センター、副院長

金子 満 雄

1. ボケは軽いうちにみつけよう。

どんな病気でも、なるべく早く、軽いうちに発見して手を打つのが最善の方法です。「自分の脳は健康だ。」と思っても、実は、あなたにも軽いボケは忍び寄っているのです。(70才代の元気なご老人の集りでも、約3割の方にボケが始まっていました。)

これからは定期的な脳の健康診断が必要になって来るでしょう。手初めに、自分のボケ指数がどれ位あるか、自己診断して見て下さい。

残念ながら、これまで痴呆と呼ばれたものは、始まってから既に2-3年以上も経過していて、治療が困難なところまで進んでしまった重症の痴呆でした。これでは手遅れです。早いうちなら、色々な治療法があります。もっと、早くボケの始まりに気付くよう、自分にも周囲の人にも目を配りましょう。

2. ボケ(老人性痴呆)とは、何でしょうか。

ボケとは、一旦、出来上がった脳が色々な原因によって、広く損傷を受け、そのため、理解力や判断力が落ちて来て、社会生活がうまく出来なくなった状態を言います。

その中でも、最も多い本態性痴呆(アルツハイマー型)は脳を有効に使わず、ぼんやりした生活を続けていると、すぐに近寄ってきます。もう一つの血管性痴呆や色々な隠れた病気が原因で起ってくる二次性痴呆は早く発見すれば、いくらでも手が打てます。

3. まず、自分のボケ指数を数えてみましょう。

次のような方がボケ(この場合、本態性痴呆)やすい人です。

- 1)若い頃から仕事にも遊びにも熱心でなく、ぼんやりした生活を送って来た人。
- 2)学問は結構やったが、仕事一辺倒で、趣味やスポーツなどに無関心だった人。
- 3)今、生活が裕福で、ゆとりがある人。
- 4)非社会的で、親しい友人を持たない人。

(欠)

5) 性格的には頑固、自己中心的、ワンマン、ネクラ、小心な人。

6) 1人ないし2人住まいの人。

7) 生き甲斐や楽しみを持ってない人。

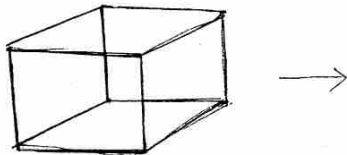
4. さて、いよいよ自己診断です。

下に挙げた三つのやさしいテストは自分だけで、そっと、短い時間にやる事が出来ます。

1) 動物名想起テスト: 世界中に居る四つ足のけもの(哺乳類)の名を1分間にいくつ思い出せるか、やってみて下さい。

15個以上言えれば合格(70才以上の方は12個以上)です。もし、その半分位しか思い出さなければ要注意です。

2) 立方体模写: 下の立方体を見ながら、同じものを描いて下さい。この形がそのまま描ければ、合格。うまく立方体にならなければ要注意です。



3) かなひろいテスト: 別紙のお伽話の意味を読みとって行きながら、同時に「あ、い、う、え、お」が出て来たら、マルを付けて行って下さい。2分間に何個拾えたかが問題です。文の意味を憶えておいて、あとで用紙の裏にそのおよその筋書きを書いてみて下さい。50才で15個以下、60才で10個以下、70才で9個以下、80才で8個以下しか拾えなかったら要注意です。その上、意味を憶えてなければ一層の要注意です。

5. 要注意の方は病院で一度、診てもらいましょう。

上の三つのテストは、どれも同じ程度に難しいので、要注意の方は、三つとも不合格になるのが普通です。しかし、あわてないで下さい。まだ、あなたが痴呆と決まった訳ではありません。病院で一度、精密検査を受けて見て下さい。

6. ボケ指数が少ないのに、テストが不合格だった人に

脳血管性痴呆や色々な病気による痴呆はボケ指数が少ない人にも、やや急激に起って来ます。そんな場合、病院で詳しい脳の検査などをすれば、原因が明らかになり、早期のものでは治療することが出来ます。

7. ボケ(本態性痴呆)を予防する生活態度と注意事項。

軽いボケが見つかった時には、それを進ませない予防が大切です。次のことに注

(5)

意しましょう。

1) 生き甲斐のある、積極的な生活をしましょう。

色々な趣味やスポーツ、ゲームに楽しみを見出し、みんなで仲良く暮らしましょう。
老人クラブや公民館の趣味の集りにも、なるべく参加しましょう。

2) 老若男女が一緒に集り、楽しめる機会を沢山作りましょう。

3) 毎日決まった仕事を一つは果しましょう。 畑仕事、庭仕事、掃除、洗濯など何でも結構です。この仕事だけは自分が守る、と思って頑張りましょう。

4) 毎日決まって、肉体運動をしましょう。

散歩、ラジオ体操などで汗を流しましょう。

5) 日記をなるべくつけましょう。

6) 旅行や外出になるべく出ましょう。

7) できれば、子や孫たちと同居を考えましょう。

8. 意欲を亢進させる右脳刺激訓練。

次に挙げるような趣味、ゲーム、スポーツなどに熱中することは脳の活性化に役立ちます。なるべく若いうちに、一つでも身につけましょう。週に最低2-3回は楽しむことが治療になります。

1) 音楽; 聴く、弾く、歌う、リズムをとる。2) 絵画; 描く、眺める、鑑賞する。

3) ゲーム類; 囲碁、将棋、マージャン、オセロゲーム、花札、ジグソーパズル、トランプ、パチンコなど。

4) スポーツ; ゲートボール、テニス、ダンス、ビリヤード、水泳、スポーツ観戦など。

5) 短歌、詩、俳句、川柳など。6) 犬、猫、小鳥、金魚の飼育。

7) 株、オートレース、ボートレース、スロットマシンなど。

8) 茶道、華道、書道など。9) 刺繍、編物、裁縫など。

10) 園芸、盆栽、野菜作りなど。11) 男女交際、旅行、湯治など。

12) 手芸、折り紙、彫り物、日曜大工、コレクション、陶磁器作り、竹細工など。

13) 読経、写経、経文を憶える。数珠作り。

9. もっと詳しく知りたい方へ。

1) 金子満雄、植村研一: 新しい早期痴呆診断法と同法を用いた地域集団検診の試み、
日本医事新報、3349号、26-30、昭和63年7月2日発行

2) 金子満雄: 医療随筆「脳が壊れるとき」、メデイカル・トリビューン社、1988年

3) 金子満雄: 老人性痴呆の正しい知識、南江堂。昭和63年11月出版予定。

(6)

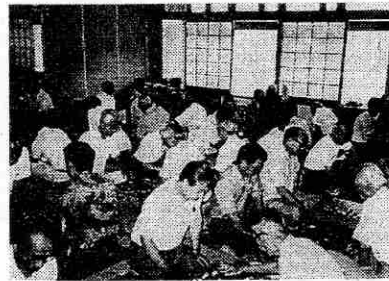
ボケ防止に関する講演会の取材について

去る9月4日の暮老連研修会囲碁大会に際し、秋松医療センター副院長の金子清雄先生による「ボケ防止に関する講演会」を開催することになっていたので、予ねて日本棋院新聞部に取材をお願い申し上げておりました所、週刊碁編集長の小林正氏が取材に見えられました。金子先生と小林さんは既に旧知の間柄とかで「御説明の要もなく、取材は好調に進んだもの」と期待致しております。又、改めて、小林さんには次のようなお願いを申し上げました。去る8月26日、日本棋院へ参上した際、福永普及部長殿に、日本棋院が主体で全国の各都府に、暮老連のような組織を設立し、囲碁の普及とボケ防止対策を積極的に進めて欲しいと進言しておりますので、普及部長と御相談頂いて、週刊碁での普及活動を是非展開して頂きたい。と云うことの方。

平成5年8月17日の「週刊碁」の記事

去る8月1日のボケ防止のための啓発囲碁八王子大会には、日本棋院新聞部長伊藤誠氏通々の取材がありました。

ボケ防止には囲碁!



八王子市に平成元年11月に設立された「暮老連」の活動が目ざされている。正式名は「八王子の碁を楽しむ老人連合」で現在会員数は有段者だけで274名を擁している。切実な問題となっているボケ防止に「囲碁が最善」と、その運動を展開しているユニークな団体。

大会(寿開碁同好会主催)の成績優秀による推薦者196名に上り、第3回「ボケ防止のための啓発囲碁大会」が行われた。内訳は有段者133名、級位者63名、成績は、
 Aクラス(四段以上) ①伊藤栄一 ②宮内庄也
 Bクラス(二・三段) ①戸泉嘉治 ②増田晋一
 Cクラス(初・準初段) ①横倉由正 ②佐藤吉男
 Dクラス(2・1級) ①名取連
 Eクラス(5・10級) ①園田聖二 ②雨宮原次
 ③松本清時の皆さん、暮老連のリター、熊崎正一さん(81)は、「老人問題は国家の義務ですが、老人自身が対策に立ち上がらなくては」「八王子名人、王座、天狗といった各タイトル戦を日本棋院、新聞社さんの後援で来年早々には実施すべく動いています。今後の運動の重点は級位者の皆さんが、楽しく碁を打てる環境づくりです」と積極的だ。

地区別「天狗」決定(後期)

地区別	段	氏名	地区別	段	氏名
浅川	1	遠田 誠 岩	由井	3	福田 喬
元八王子	2	山田 明	由木	初	大貫 佐一 洋
中野	3	佐藤 利 夫	北野	2	水野 豊 夫
大和田	2	石 黒 佐 介	長 芳	2	松 井 豊

(7)

若菜連用体對抗戦の総括(平成5年度)

去る8月15日の對抗戦を以つて本年度の優勝は、北野チームと決定致しました。おめでとうございます。
尚、詳細については下記の通り御報告申し上げます。

1. 団体戦成績表

チーム名	対戦									合計	
		勝数	負数	勝数	負数	勝数	負数	勝数	負数	勝数	負数
茨川	勝5負	-	1	1	0.5		1		1	4.5	2
	勝数		11	11	9	5	12	3	12	63	
元王子	勝5負			1	1	1			1	4.0	3
	勝数	7	-	10	10	13		8	10		
中野	勝5負					1	1		1	3.0	6
	勝数	7	8	-	8	10	13	7	11	64	
大和田	勝5負	0.5		1		1		0.5	0.5	3.5	5
	勝数	9	8	10	-	11	8	9	9	64	
由井	勝5負	1						0.5		2.5	7
	勝数	13	5	8	-			14	9	8	64
由木	勝5負		1		1			1	1	4.0	3
	勝数	6		5	10	4		12	11		
北野	勝5負	1	1	1	0.5	0.5			1	5.0	優勝
	勝数	15	10	11	9	9	6		10	70	
長房	勝5負					0.5	1			1.5	8
	勝数	6	8	7	9	10	6	8		54	
参加人員		25	21	13	19	16	19	19	18	150	

2. 個人成績表(2回以上参加者)

地区別	氏名	勝数	負数	地区別	氏名	勝数	負数
茨川	市川 日菜	6	3	茨川	初 折井 豊	2	4
(12)	城 大次郎	6	3	元王子	山下 則文	7	5
	長谷川 忠	3	6	(4)	延平 和尔	6	3
	梅田 昭二	3	3		高橋 実	2	7
	藤田 延美	6	3		佐原 正秋	4	5
	小林 晃	3	3		橋場 利夫	5	1
	大河原 静	2	4		岡村 吉人	4	2
	奥村 章	3	6		橋本 勝	2	7
	平 辰雄	2	4		省水 勇	5	1
初	中島 義彦	3	3		戸泉 嘉治	3	3
	吉開 孝之	4	2		西山 孝治	4	2

(8)

中野	2	長島 茂	3	3	由木	6	吉成 進	5	7
"	"	清水 一輝	3	3	(9人)	5	神保 大二	3	9
"	"	山田 翔	2	4	"	"	朝日 昇	1	11
初	6	西谷 卓	5	4	"	"	松田 実	9	3
中野	6	木島 洋右	5	7	"	0	越 真幸	13	2
(11人)	5	佐藤 真人	7	8	"	2	箱垣 良夫	6	0
"	4	中田 勤	11	1	"	初	佐々木 俊節	4	4
"	3	牛年 和夫	2	7	"	初	大重 佑一	4	2
"	"	藤本 洋典	2	10	"	"	安部 栄吉	2	7
"	2	石山 徳義	10	5	北野	6	伊藤 栄一	5	4
"	"	大木 茂	6	3	(10人)	5	笠田 実之	7	5
"	"	牧 嘉賢	5	4	"	"	山本 徳美	7	5
"	"	小櫃 久幸	5	1	"	"	中島 英雄	4	2
初	"	畑 友迪	0	6	"	4	山本 金昭	3	3
"	"	布 祐	7	5	"	"	佐木 豊	6	3
大和田	6	高田 總男	4	2	"	3	倉田 収	0	6
(14人)	"	尾谷 孝治	5	7	"	"	城 定武	2	4
"	4	佐藤 泉次	6	6	"	"	山本 林	6	0
"	"	速藤 成幸	4	5	"	2	雨宮 田藏	2	4
"	"	西宮 久徳	3	3	"	"	水野 豊夫	2	4
"	"	豊田 弘伯	2	4	"	"	久保 大栄	5	1
"	3	藤 久雄	3	3	"	"	横藤 田正	9	3
"	"	产野 敦亮	8	1	"	初	植松 四郎	4	2
"	"	小介川 美之	3	3	"	"	萬 津 仁	3	3
"	2	愛林 院正	9	3	長茅	6	小西 徹	3	3
"	"	根本 忠銀	4	2	(14人)	5	佐藤 要吉	5	7
初	"	宇田 栄	3	3	"	"	小川 勇	1	5
"	"	佐藤 文夏	3	3	"	4	平山 智之	7	2
"	"	山崎 忠彦	3	6	"	3	产谷 嘉美男	2	4
由井	5	奥山 和英	8	4	"	"	高橋 良太郎	5	7
(10人)	"	荒井 翔	5	7	"	"	石井 正之	4	5
"	4	森田 高尾	4	2	"	2	秋山 忠作	1	5
"	3	塚 義三	4	5	"	"	松谷 昭男	4	2
"	"	福田 一喬	11	7	"	"	松井 豊	4	1
"	"	片岡 健一	5	7	"	"	山崎 修	3	3
"	2	福富 淳博	6	3	"	"	宇川 隆一	3	6
初	"	所 部 博	4	11	"	初	菅 藤 整	2	4
"	"	倉田 政君	1	5	"	"	石 取 進	5	4
初	初	吉田 国男	6	3	計 99名				

3. 団体対抗戦以上の昇級推薦者

0印昇級者

地区別	昇級	氏名	勝数	負数	比率	対戦相手				
						6級	5級	4級	3級	2級
中野	5級	中田 勤	11	1	92%	2人	6人	3人	1人	
大和田	4級	产野 敦亮	8	1	89%			3人	3人	3人
由木	4級	越 真幸	13	2	87%	1人	3人	2人	4人	2人

(9)

団体対抗戦成績表(7回戦 8月15日)

浅川4-1(勝4.5) 長茂4-1(勝1.5)

区分	長茂	浅川					初	勝計
		6	5	4	3	2		
	浅川	小川	佐藤	平山	高橋	宇川	名取初	
6	栗田	0	X	0				2
5	宇川	0	X	0				2
4	城	X	0	0				2
3	橋場				0	0		3
2	若川初				0	0	X	2
初	折井初				X	0	X	1
	勝計	1	2	0	1	0	2	6

由木4-1(勝4) 元野4-1(勝4)

区分	由木	元野					初	勝計
		6	5	4	3	2		
	由木	高橋	藤原	戸泉	山田	長島	西谷初	
6	松田	0	0	0				3
5	朝日	0	X	X				1
4	裁	0	0	0				3
3	箱垣				0	0	0	3
2	戸塚				X	X	X	0
初	大貫初				0	0	0	3
	勝計	0	1	1	1	1	1	5

大和田4-1(勝3.5) 由井4-1(勝2.5)

区分	由井	大和田					初	勝計
		6	5	4	3	2		
	大和田	花井	藤田	片岡	福田	和田	谷田初	
6	亀谷	0	0	X				2
5	牧野	X	X	0				1
4	蓮田	X	X	0				1
3	江野				0	0	0	3
2	雲林院				0	0	0	3
初	山崎初				X	X	0	1
	勝計	2	2	1	1	1	0	7

中野4-1(勝3) 北野4-1(勝5.0)

区分	北野	中野					初	勝計
		6	5	4	3	2		
	中野	芝田	山本	佐木	菅原	横藤	植松初	
6	木島	0	X	0				2
5	中田	0	0	0				3
4	藤本	X	X	X				0
3	千早				X	X	X	0
2	加藤				X	0	X	1
初	布鶴初				X	0	X	1
	勝計	1	2	1	3	1	3	11